

CTCAE では AE ( Adverse Events ) について重症度のスケール (Grade) を以下の Grade 1-5 の原則に従って定義しており、各 AE の重症度の説明を個別に記載している。

Grade 1 「軽症」：症状がない、または軽度の症状がある；臨床所見または検査所見のみ；治療を要さない

Grade 2 「中等症」：最小限/局所的/非侵襲的治療を要する；年齢相応の身の回り以外の日常生活動作の制限

Grade 3 「重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない」：入院または入院期間の延長を要する；活動不能/動作不能；身の回りの日常生活動作の制限

Grade 4 「生命を脅かす」：緊急処置を要する

Grade 5 「AE による死亡」

# 骨髓抑制の重症度評価

	Grade 1	Grade 2	Grade 3	Grade 4	Grade 5
白血球減少	<施設基準下限値～ 3000/mm <sup>3</sup>	<3000～ 2000/mm <sup>3</sup>	<2000～ 1000/mm <sup>3</sup>	<1000/mm <sup>3</sup>	-
好中球減少	<施設基準下限値～ 1500/mm <sup>3</sup>	<1500～ 1000/mm <sup>3</sup>	<1000～ 500/mm <sup>3</sup>	<500/mm <sup>3</sup>	-
血小板数減少	<施設基準下限値～ 75,000/mm <sup>3</sup>	<75,000～ 50,000/mm <sup>3</sup>	<50,000～ 25,000/mm <sup>3</sup>	<25,000/mm <sup>3</sup>	-
貧血	Hb<施設基準下限値 ～10.0g/dL	Hb<10.0～ 8.0g/dL	Hb<8.0～ 6.5g/dL	生命を脅かす； 緊急処置を要する	死亡

# 悪心・嘔吐の重症度評価

	Grade 1	Grade 2	Grade 3	Grade 4	Grade 5
悪心	摂食習慣に影響のない食欲低下	顕著な体重減少、脱水または栄養失調を伴わない経口摂取量の減少	カロリーや水分の経口摂取が不十分；経管栄養/TPN/入院を要する	—	—
嘔吐	24時間に <u>1-2エピソード</u> の嘔吐	24時間に <u>3-5エピソード</u> の嘔吐	24時間に <u>6エピソード以上</u> の嘔吐；TPNまたは入院を要する	生命を脅かす；緊急処置を要する	死亡
*5分以上間隔があいたものをそれぞれ1エピソードとする					

# 下痢の重症度評価

	Grade 1	Grade 2	Grade 3	Grade 4	Grade 5
下痢	<p>ベースラインと比べて <u>&lt;4回/日</u>の排便回数増加</p> <p>人工肛門からの排泄量が<u>軽度</u>に増加</p>	<p>ベースラインと比べて <u>&lt;4~6回/日</u>の排便回数増加</p> <p>人工肛門からの排泄量が<u>中等度</u>に増加</p>	<p>ベースラインと比べて <u>&lt;7回以上/日</u>の排便回数増加；便失禁；</p> <p>人工肛門からの排泄量が<u>高度</u>に増加；</p> <p>身の回りの日常生活動作の制限</p>	<p>生命を脅かす； 緊急処置を要する</p>	<p>死亡</p>

# 口内炎の重症度の評価

	Grade 1	Grade 2	Grade 3	Grade 4	Grade 5
口内炎	症状がない、または軽度の症状がある 治療を要さない	中等度の疼痛； 経口摂取の支障がない 食事の変更を要する	高度の疼痛； 経口摂取に支障がある	生命を脅かす； 緊急処置を要する	死亡

- 有害事象共通用語規準 v4.0 日本語訳JCOG版